

きちょうしき

をもとにして、基地局指定信号を順次切り換えて送出している。基地局では、この信号によって使用通路の受信回路を形成するとともに、各基地局指定信号を3,400c/sに変換して統制局へ送る。統制局では、この信号を受信して対応する基地局の通路回路を構成する。

移動局電波は、混信を起こさぬ範囲の離れた距離にあつては、重複して使用可能としているので、このため混信防止と通話時間確保のために通路路ごとに通話中基地局の隣接数基地局を話中とし、他移動局から発呼できないようにする閉そく機能や、また列車の進行とともに基地局ゾーンを順次切り換えたり、さらに列車が進行して次の統制局支配ゾーンに入ったときは、統制局の切換えを行なつて、通話の継続をはかる呼の追跡機能は、統制局で制御しているが、これらの制御も基地局指定信号をもとに行なわれている。→通話接続制御信号。列車選択呼出信号。列車無線。

参考文献 新幹線局電気部信号通信課編 新幹線通信設備(3)~(5)。 (桐生邦雄)

きちょうしきかいけいき 記帳式会計機 (英) accounting machine 事務用計算機として、*電子計算機とともに、経営管理および事務合理化の有力な手段として、急速に普及している。

国鉄においても、戦後、資材部などにおいて一部使用されていたが、第2次5箇年計画に基づき、100台で20万人の給与計算を行なうことを目標として、昭和32年から本格的な導入を開始した。昭和39・6において、パロースF形61台、ナショナル31形など16台、計77台の導入を行ない、約12万人の給与計算および出納計算、資材事務などの業務を行なっている。(別

表) 記帳式会計機は、ウィリアム・パロースによって発明され、1926年イギリスのノーチカル・アマナック事務所において使用されたのが、世界最初のものといわれている。これは、加算機のもつ集計機能と、タイプライターの作表機能を組み合わせた複合機械として作られたものである。その後、クロスフッターの発明、制御装置の改良など、大きな進歩を遂げ、自動的に複数の計算、作成、分類、集計などを行なえるようになった。

現在の会計機は、加算機に、タイプライターの印刷機構をつけて発達したものと、タイプライターに回転計などの計算機構をつけて発達したものとがあり、次のような部分によって構成されている。

1 けん(鍵)盤部 置数および操作のための[キー]があり、フルキーのものは、数字キーのけた(桁)数に対応するキーボードがあり、テンキーのものは、数字キーのみのキーボード(10個)をもっている。

2 演算部 回転計およびクロスフッターがあり、加減算を同一線上において計算する。最近においては継電器・電子回路を利用したものもある。

3 制御部 演算、分類、印刷、記憶などの指令を組み込んだコントロール・パネルによって、会計機の頭脳的役割をもっている。

4 印刷部 1インチに10文字印字するもの(バイカピッチ)および6.5字、7字、8字、印字のものがあり、数字および日付のみ印字できるもの(ショート・テキスト)と全文字印字できるもの(フル・テキスト)がある。

これらの機械は、使用目的、用途によって、専用の機能が付加されており、種類は次のようになっている。

記帳式会計機か動状況

昭和39・6・1現在

支社名	給与計算			使用機種	計	作業人員	その他の業務	
	記帳式機械化人員	P.C.S.E.D.P.S機械化人員	機械化実施率					
北海道	22,906	2,102	51%	パロース F 501 ナショナル 31	9 1	10	26	支払計画および経費伝票整理帳記帳 銀行振込依頼書作成 所得税徴収高計算書集計 収支総計日報集計 収入日報集計 控除額請求書集計 原価計算充当人員集計 決算伝票集計 共済貯金、貸付事務 機械台帳記帳 原価管理諸表作成 貯蔵品受払残高月報集計 貯蔵品購入状況調作成 " 需給 " " 回転率調 "
東北	19,589		40%	パロース F 500 F 501 F 7501 F 2501 ナショナル 200 31	2 5 2 2 1 1	13	35	積送品未領収月報集計 貨車修繕状態調作成 職員統計作成 運輸速報集計 自動車運輸成績月報集計
新潟	0	6,254	38%					
関東	8,815	2,705	12%	パロース F 501 ナショナル 31 34	6 3 1	10	23	
中部	16,182		26%	パロース F 501 F 6501	8 1	9	25	
関西	10,676		14%	パロース F 500 F 501	2 3	5	15	
四国	6,716		53%	パロース F 501	5	5	12	
中国	7,565		29%	パロース F 501 ナショナル 31	5 1	6	19	
西部	22,377		44%	パロース F 500 ナショナル F 2000 31 34	8 1 5 3	17	49	
新幹線	0							
本社	4,578	904	69%	パロース F 501	2	2	7	
計	119,404	11,965	26%			77	211	